

梅式家庭学習のすすめ

宿題

+

自学

=

梅式
家庭学習

※低学年のうちは、宿題だけに取り組みます。

学習時間のめやす
学年×10分

自学をする上での注意点

1. 学習内容がかたよらないようにする。

得意な教科ばかりやるのではなく、毎日内容を変えて、苦手な教科にも挑戦しましょう。

2. 家庭学習時間のめやすを守る。

たとえば、60分かけてもだらだらやったら意味ははあられません。めやすの時間いっぱい、しっかりやりましょう。

3. 学習の記録（成果）を残す。

体育や音楽、家庭科の家庭学習では、やっただけでは学習の成果を知ることができません。そこで、紙で提出しにくいものについては、Googleスライドでまとめたり、映像で記録したりする工夫が必要です。紙ノートで提出することも大切です。バランスを考えて工夫して提出しましょう。

自学の参考例（各学年共通）

国語 ・漢字練習 ・意味調べ ・視写 ・日記 ・音読
・テストで間違った漢字を覚える。
・ことばの使い方を調べる。
算数 ・計算練習
・テストで間違った問題をもう一度解いてみる。
理科, 社会
・学校で学習したことに関係があることを調べる。

そのほか、自分がわくわくしたり興味があったりするものにどんどん取り組んでみましょう。

・プログラミング ・おすすめの本紹介 ・料理 ・作曲
・小説づくり ・新聞記事へのコメント ・百人一首暗唱
・イラスト ・感想文 ・恐竜図鑑づくり ・生き物観察
・折り紙 ・工作 ・スイミング ・サッカー ・囲碁
・将棋 ・家のお手伝い ・タイピング練習 などなど

家庭学習の意義

学校で学習したことを定着させ、学力を向上させるために、家庭学習の習慣はとても大切です。学校で学習して分かったつもりでも、何日かすると忘れてしまいます。そこで、学習したことを忘れないようにするためには、毎日の習慣や繰り返しの学習が必要になります。

家庭学習の習慣が身に付くと、学校で学習したことがよく分かるようになり、自分に自信をもつことができます。さらに、学年が上がるにつれて、意欲をもって自分で考えた課題（復習や学習）に取り組めるようになります。

梅式家庭学習は、学校から出される宿題と自分が決めた課題（自学）に取り組むハイブリッド型家庭学習です。

梅式家庭学習で身につけたい力

習慣づけの1年生

- ①ひらがな・カタカナの清音が読めて書ける。
- ②助詞（へ・を・は）の使い方が分かる。
- ③たし算・ひき算ができる。
- ④100までの数を順に並べたり、大小に比べたりできる。
- ⑤80字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ⑥鉛筆を正しく持って字が書ける。

分かれ道の3年生

- ①200字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②短い詩が暗唱できる。
- ③簡単なことわざを知っている。
- ④主語と述語の意味がわかる。
- ⑤かけ算・わり算ができる。
- ⑥はかりを使って重さがよめる。
- ⑦コンパスを使って簡単な図形が書ける。

粘り、乗り越える5年生

- ①193字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②今までに習った漢字を使った熟語の8割が書ける。
- ③小数のかけ算・わり算ができる。
- ④分数のたし算・ひき算・かけ算・わり算ができる。
- ⑤割合・百分率を使った問題が解ける。
- ⑥図形（三角形・平行四辺形など）面積が求められる。
- ⑦タブレットでローマ字入力ができる。
- ⑧47都道府県の位置がわかり、名称を正しく書ける。

逃げない子にする2年生

- ①160字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②順序よくお話をすることができる。
- ③2桁、3桁のたしざん ひきざんができる。
- ④九九がすらすら言える。
- ⑤定規を使って筆算をきれいに書きながら計算ができる。
- ⑥決められた長さの直線を正しく引ける。

「9歳の壁」を破る4年生

- ①202字の配当漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
- ②ローマ字を適切に読み書きできる。
- ③文と文のつながりを考えながら、指示語や接続語を使う。
- ④国語辞典・漢和辞典を正しく使える。
- ⑤わり算の筆算ができる。
- ⑥小数のかけ算・わり算ができる。
- ⑦分母が同じ分数のたし算・ひき算ができる。
- ⑧地図を使って見知らぬ場所や地名が調べられる。
- ⑨47都道府県の位置がわかり、名称を正しく書ける。

中学生活に希望もてる6年生

- ①小学校で習得すべき漢字のすべてが読め、9割の漢字が書ける。
（6年生では191字）<小学校で習得する漢字1026字>
- ②小学校で習う漢字を使った熟語の8割を正しく書ける。
- ③分数・小数の混合計算ができる。
- ④ともなって変わる2つの量の関係が分かる。
- ⑤歴史上の事件や人物についてだいたい説明できる。
- ⑥歴史に残る古文のいくつかにふれ、暗唱できる。
- ⑦重要な年号を30程度覚える。
- ⑧三権分立など社会用語のだいたいの説明ができる。
- ⑨47都道府県の位置がわかり、名称を正しく書ける。
- ⑩世界の主な国々の位置を正しく示せる。
- ⑪理科の実験道具の正しい扱い方を知っている。
- ⑫タブレットで速くローマ字入力ができる。